

完了後の評価個表

整理番号	8
------	---

事業名	森林環境保全整備事業	都道府県	栃木県
地域（地区）名	なかがわ 那珂川	事業実施主体	県、市町、森林組合、森林所有者等
関係市町村	おおたわら 大田原市ほか8市町	管理主体	県、市町、森林組合、森林所有者等
事業実施期間	H23年度～H27年度（5年間）	完了後経過年数	5年間

事業の概要・目的	<p>本地区は栃木県の北東部に位置し、北は福島県、東は茨城県、南は鬼怒川森林計画区に接する地域で、5市4町からなる。総土地面積は233千haで県土の36%を占める。</p> <p>本地区の森林面積は132千ha、森林率は57%であり、そのうち民有林は90千haで森林面積の68%を占める。</p> <p>民有林のうち、人工林は48千haで民有林の53%を占め、この9割がスギ・ヒノキであり、西部の高原地域、北東部の八溝地域を中心に素材生産が広く行われている。民有人工林の齢級構成はピークがⅫ齢級となっており、利用期を迎えた林分の皆伐が増加傾向にある一方で、間伐等を要するⅣ～Ⅻ齢級の林分が63%を占めている。</p> <p>そのため、皆伐実施箇所における再造林、下刈り及び除伐を適正に実施するとともに、森林施業の集約化を通じて施業の低コスト化を図り、計画的な間伐等の実施などの森林整備を推進することが望まれる。</p> <p>また、民有林のうち天然林については、中部・南東部の丘陵地帯を中心にシイタケ原木生産を目的としたナラ・クヌギ等の育成天然林施業が行われており、東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故に伴う放射性物質の影響により森林施業が停滞したものの、今後はシイタケ原木生産再開に向けた天然更新等も期待されている。</p> <p>このため、本地区内の森林が有する水源涵養機能^{かん}や山地保全機能などの公益的機能を発揮するために必要な造林や間伐などの森林整備を積極的に推進するとともに、天然林については樹下植栽及びその後の保育を適正に実施したものである。</p> <p>・主な事業内容 森林整備 7,285ha 人工造林、下刈り、搬出間伐、森林作業道等</p> <p>・総事業費 3,853,915千円（税抜き 3,619,094千円） （平成22年度の評価時点 6,285,315千円（税抜き 5,986,014千円））</p>
----------	--

① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>令和3年度時点における費用便益分析の結果は以下のとおりである。</p> <p>事前評価の分析結果との差異については、森林施業の集約化等により施業の低コスト化を図ったことにより費用を押さえることが出来たため。また便益分析の算出方法において、平成30年度に費用から消費税を除いて算出する見直しを行ったためであ</p>
-------------------------	---

	<p>る。</p> <p>総便益（B） 31,105,325千円（平成22年度の評価時点33,440,659千円※）</p> <p>総費用（C） 10,352,766千円（平成22年度の評価時点12,209,712千円※）</p> <p>分析結果（B/C） 3.00（平成22年度の評価時点2.73※）</p>
② 事業効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・更新・保育によって約7,285haの森林が整備され、水源涵養、山地保全等森林の有する公益的機能の維持増進が図られた。また、高性能林業機械の使用等により効率的な作業が行われ、木材が安定的に供給された。 ・コナラ等広葉樹植栽により、多様な森づくりが進み、公益的機能の増進や生物多様性が高まった。 ・森林整備の発注により雇用の場が提供され、地域の社会経済に貢献した。
③ 事業により整備された施設の管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・整備された森林は、森林経営計画等に基づき、森林所有者及び森林組合等によって、継続して適切に管理されており、良好な管理状況にある。 ・整備された森林作業道は、適切に維持・管理しており、間伐等の実施する際には、草刈り等を行い維持管理状況は良好である。
④ 事業実施による環境の変化	<p>森林整備の実施により良好な森林が形成され、水源涵養、山地保全、木材等の安定供給、地球温暖化防止等、様々な多面的機能が発揮されている。</p> <p>また、林木の健全な育成が図られ、林業経営の意欲が向上してきている。</p>
⑤ 社会経済情勢の変化	<p>木材需要が増大かつ多様化しているなか、これまで整備してきた豊富な森林資源の多くが利用期を迎えており、「伐って、使って、植えて、育てる」森林本来の循環利用をすることを通じ、林業の成長産業化と森林の適切な管理を両立していくことが求められている。</p> <p>このため、生産性の向上や労働安全性の強化に向け、高性能林業機械の導入や、スマート林業の推進等への取り組みが求められている。</p>
⑥ 今後の課題等	<p>森林の有する公益的機能の維持増進を高度に発揮させるため、引き続き森林整備事業を実施する。</p> <p>事業の実施にあたっては、伐採と造林の一貫施業、施業の集約化等により低コスト化・省力化を図るとともに、森林所有者に対する森林施業実施の普及啓発等を行い、積極的な森林施業の実施を促進する必要がある。</p> <p>地元の意見：</p> <p>（栃木県）</p> <p>森林整備事業の実施により、森林の持つ公益的機能（土砂流出防止、水源涵養機能等）の高度発揮や木材の生産に寄与している。</p> <p>（大田原市）</p> <p>施業の集約化による低コスト化に加え、搬出コストについても低下させることが必要であり、支線としての機能を有する市有林道については、効率的な作業道設置や接続を含め、地元自治会と協力して林道の維持管理を行い、森林所有者に積極的に森林整備を働きかけていく。</p> <p>一方、支線林道が接続する先の広域的な林道等基幹線としての機能を有する八溝縦貫線は、次期計画において県レベルで改修や補修をおこなう必要がある。</p>

(矢板市)

森林の有する多面的機能が持続的に発揮されるために、計画的な事業実施が必要である。今後も主伐・再造林・保育といった循環を加速化させ、森林の有する多面的機能はもとより、雇用の確保に向けた取組を推進していきたい。

森林整備の実施により、那珂川流域の水源かん養等保安林の保全、山地の保全等、公益的機能の向上が図られたものと考えられる。

本事業の実施を通し、森林が適正に整備され、公益的機能の維持促進が図られたことにより、地域林業の振興及び地域の社会経済の発展に貢献していることがうかがえることから、引き続き事業の推進をお願いしたい。

(那須塩原市)

森林整備事業実施により、森林の有する公益的機能の維持増進が図られ、土砂流出の防止・水源涵養機能等の高度発揮に寄与している。

適切な森林施業を継続するためにも、森林所有者に対して積極的に普及啓発を実施していきたい。

(さくら市)

森林の有する多面的機能が持続的に発揮されるために、計画的な事業実施が必要である。

今後も主伐・再造林・保育といった循環を加速化させ、森林の有する多面的機能はもとより、雇用の確保に向けた取組を推進していきたい。

また、森林整備の実施により、那珂川流域の水源かん養等保安林の保全、山地の保全等、公益的機能の向上が図られたものと考えられる。

本事業の実施を通し、森林が適正に整備され、公益的機能の維持促進が図られたことにより、地域林業の振興及び地域の社会経済の発展に貢献していることがうかがえることから、引き続き事業の推進をお願いしたい。

(那須烏山市)

森林整備の実施により、水源涵養機能及び山地保全等が図られ、森林の多面的な機能の発揮に寄与している。

引き続き、生産性の向上や労働安全性の強化にも目を向けながら、更なる森林整備を推進する必要がある。

(塩谷町)

森林整備の実施により、那珂川流域の水源かん養等保安林の保全、山地の保全等、公益的機能の向上が図られたものと考えられる。

(那珂川町)

森林環境保全整備事業の実施により、水源涵養、山地保全等森林の有する公益的機能の維持増進が図られたことから、引き続き事業の継続をお願いしたい。

<p>評価結果</p>	<p>必要性： 本事業を実施したことにより、土砂流出防止、水源涵養機能の向上、木材の供給等の森林の多面的機能の高度発揮に寄与するなど、効果が発揮されていることから事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性： 森林整備及び路網の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な施業種・工種・工法で実施しており、事業の実施にあたっては、コスト縮減に努めるなど、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性： 森林資源の現況や路網の整備状況を踏まえた計画的な事業の実施により、森林の有する多面的機能が向上し、引き続きその効果が継続されていることから、事業の有効性が認められる。</p>
-------------	--

※平成 22 年度評価時点における数値については、消費税を含んだ数値である。

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：栃木県

地域(地区)名：なかがわ
那珂川

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	8,865,156	
	流域貯水便益	2,093,653	
	水質浄化便益	8,112,675	
山地保全便益	土砂流出防止便益	5,803,190	
環境保全便益	炭素固定便益	2,736,121	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	3,494,530	
総 便 益 (B)		31,105,325	
総 費 用 (C)		11,029,372	
費用便益比		$B \div C = \frac{31,105,325}{11,029,372} = 3.00$	

森林環境保全整備事業 那珂川地域(栃木県)

